

【別紙様式】

平成28年度 津山市立高倉小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	算数A B . . . 計算問題は向上。「場面の適用」「理由を書く」に課題 国語A B . . . 「話すこと・聞くこと」「記述式」に課題	
学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）		進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全体の取組	問題データベースを活用し、全校学力調査問題（A・B問題）の課題のあった類似問題を取り上げ、朝モジュール、放課後学習、授業中に位置づけて取り組む。	B	○活用問題は問題データベースを使用し、A・B問題で課題のあった類似問題を解く。（100%） ○基礎基本の定着しにくい児童には、引き続き個別指導を行う。
①	落ち着いた学習環境を継続させ、基礎基本の徹底を図る。	B	○学習規律の徹底（学期毎に見直し）家庭学習の徹底と内容の工夫に全校で取り組む。 ○（全国学力テスト）全教科で県平均を上回る。 ○（県学力テスト）全教科で県平均を目指す。
②	「考えを書く」「考えを説明する」「最後まで聞く、話す」に重点的に取り組む。	B	○どの学年でも授業の「めあて」「まとめ」「振り返り」をし、自分の考えを的確な言葉で書くなど記述に慣れさせる。 ○授業の中で、キーワードや条件を入れてまとめたり、自分の考えを書いたりする場面を多く設定する。
③	全職員で児童理解に努め、一人ひとりの達成感、満足感を大切にし、自己肯定感を高めるように努める。	B	○「生活アンケート」を実施して、一人ひとりと面談、支援（毎学期） ○「チームとして高倉の子どもを育てていく」の共通理解のもと、学年末に向けて、各学年の取組、児童会の集会等での児童の変容を認め、全職員で児童への声かけを積極的に行う。
<p>※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」</p>			